日本大学三島高等学校
2023

CHANGE!

今できること、今しかできないことをしたい。前に進みたい、自分を変えたい、進化させたい。でも何から始めたらいいかわからない。期待と不安を抱える全ての生徒を、日大三島は全力で応援し、サポートします。さあ、新しい君をここから始めよう！

POLICY

校訓　自由と規律

教育方針

本校は「日本大学の目的および使命」に基づき、豊かな自然環境と恵まれた教育環境の中で、教育理念である「自主創造」の精神を育み、世界の進展に適応し、「自由と規律」を重んじ、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成することを教育の基本方針とする。

教育目標

1. 自主協同の精神を養い、心身ともに健康な人間を育成する。
2. 広く世界の文化を学び、文化的創造力溢れる人間を育成する。
3. 豊かな教養を身に付け、真理と平和を愛する人間を育成する。

スクールミッション

「さまざまなフィールドでリーダーシップを発揮できる人材を育成する」

1. さまざまな活動を通じて広く世界や文化を学び、豊かな心身を育み、豊富な知識や多様な価値観を身につける。
2. 社会との関わりを大切にし、自らの将来について考え、人生を描く力を身につける。
3. 自ら道をひらき、進路を実現することができる力を身につける。

COURSES

4つの選べるコースで多彩なキャリアデザインが可能

総合進学コース	日本大学の学部学科への進路を実現する学力を身につける	P4へ
アカデミックコース	希望する進路を実現する学力を身につける	P6へ
グローバル留学コース	留学制度を利用し国や地域に捉われない考えを身につける	P8へ
アスリートコース	アスリートとしての素養と教養を身につける	P10へ

MESSAGE

学校長挨拶

日本大学三島高等学校は、日本大学の正付属校です。日本大学は明治政府の初代司法大臣であった山田顕義先生によって創設されました。学祖山田顕義先生は、14歳の時に吉田松陰先生の開いた松下村塾に学び始めます。その吉田松陰先生は、次のような言葉を残されています。『夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。』

成功するためには、まず“夢”をもつことです。夢が無ければ、これから先どのような人生を送りたいのか、どのような人間になるべきか、という理想も生まれません。そして、理想が無ければ、それを実現するための計画を立てることもままなりません。さらには、計画が無ければ、実行は伴いません。何も実行しなければ、当然の如く成功は望めません。

本校は日本大学の教育理念である「自主創造」の気風のもと、「自由と規律」を重んじる教育を展開しています。日本大学三島高等学校での生活にはたくさんの自由があります。しかし、その自由も時と場合、行動によっては、単なるわがままに陥ってしまいます。皆さんには、これから多くの自由を謳歌していただきつつ、自己の心の中を深く見つめて、規律をもって学校生活を過ごしていただきたいと思います。すでに夢がある人はその夢の実現に向けて、学校生活を過ごしていただきたいと思います。そして、未だ自身の夢が明確でない人は、日本大学三島高等学校で過ごす3年間で、是非とも夢をもち、その実現へと歩みを進めていただきたいと思います。

日本大学三島高等学校　校長
渡邊　武一郎

総合進学コース

NS COURSE

【特長】

■日本大学への進学を最優先したカリキュラム編成

■部活動にも取り組みやすい時間割設定

日本大学付属推薦制度

基礎学力到達度テスト※ ／ 高校3年間の成績

↓

出願（11月）

↓

小論文・面接試験等実施（11月）
総合して進路決定（12月）

↓

日本大学各学部・学科へ進学

※全国の付属生を対象に、2年次に1回、3年次に2回の計3回実施

■ TIME TABLE（一例）

時間割	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	論理・表現Ⅰ	言語文化	数学A	歴史総合	英語コミュニケーションⅠ	土曜講座①
2	地理総合	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	地理総合	数学A	土曜講座②
3	物理基礎	物理基礎	現代の国語	数学A	美術Ⅰ	総合的探究
4	体育	情報Ⅰ	論理・表現Ⅰ	数学Ⅰ	美術Ⅰ	
5	現代の国語	情報Ⅰ	言語文化	体育	保健	
6	数学Ⅰ	数学Ⅰ	化学基礎	言語文化	化学基礎	
7	LHR	歴史総合				

土曜講座

進路実現や多様な経験を重ねられる機会とするほか、普段の授業で十分な理解を得られないことを、じっくりと時間をかけて習得します。

講座例：職業講座（専門家による講話）、大学教員による講話、学年企画、プレ定期テスト 等

総合的な探究の時間

自分自身のリーダーシップを発揮できるフィールドを探究します。「地域」について学びを深め、他者と協働する中で自分の資質を高めていきます。3年間におよぶ探究活動では、フィールドワークや協働制作を通して ICT 活用能力やプレゼンテーション能力、発信力を高めます。

■ PICK UP POINT

POINT1・日大進学

高校生のうちから大学の授業に触れる

日本大学付属校のメリットを生かし、学部進学説明会や相談会、模擬授業を行っています。三島キャンパス内で各大学進路担当者から進路情報を聞くことができます。各学部教授による多彩なテーマでの模擬授業は進路選択に役立ち、研究機関である大学への関心を高めます。

POINT2・キャリア形成

体験型授業で専門知識を深める

定期的に医療保健系進学講座を開催し、医療系大学の先生や現場で働く看護師の方からの講演や、簡単な看護技術の体験等を行う機会を設けています。また、希望者を対象に幼稚園・保育園実習や、近隣の医療機関と連携した「一日ナース体験」も実施するなど、専門職に携わる者としての資質・心構えを高める機会となります。

POINT3・グローバルハイスクール

地域から世界を目指す

本校は、静岡県「グローバルハイスクール」研究指定校として、国際理解教育に力を入れています。生まれ育った地域から日本、そして世界へと学びを広げていきます。現在日本大学ニューキャッスルキャンパス（オーストラリア）を利用した海外研修を調整しています。

教育課程			国語					地理歴史						公民			数学							理科							保健体育	
			現代の国語	言語文化	論理国語	古典探究	●文学特講	地理総合	地理探究	歴史総合	日本史探究	世界史探究	●資料講読	公共	倫理	政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C	●数学特講	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	●理科特講	体育	保健
標準単位数			2	2	4	4	1	2	3	2	3	3	2	2	2	2	3	4	3	2	2	2	4	2	4	2	4	2	4	3	7-8	2
1年			2	3				2		2							3			3				2		2					2	1
2年	文系	公民												2	2	2																
		地歴			2	3	1		☆4		☆4	☆4		2				4			2							2			2	1
	理系				2	2								2				5			3				☆4		☆4	2	☆4		2	1
3年	文系	公民													4	4																
		地歴			3	3			☆6		☆6	☆6	2									2	4								3	
	理系				2	2													6			3			☆4		☆4		☆4	3	3	

教育課程			芸術		外国語							家庭	情報	総合的な探究の時間	合計	特別
			音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅲ		家庭基礎	情報Ⅰ			ホームルーム活動
標準単位数			2	2	3	4	4	2	2	2		2	2	3-6	-	3
1年			☆2	☆2	3			2					2	1	32	1
2年	文系	公民														
		地歴				4			2			2		1	32	1
	理系					4			2			2		1	32	1
3年	文系	公民					4			4				1	32	1
		地歴													32	
	理系						4			4				1	32	1

○は学校設定科目、☆は選択科目。
2年理系生物選択者は、1学期まで「生物基礎」を6単位で行い、2学期から「生物」を6単位で行う／2年文系公民選択者は、1学期まで「公共」を6単位で行い、2学期から「倫理」を3単位、「政治・経済」を3単位で行う。

コース長／寶田 容次 先生

多角的な視野を持ち希望の進路実現を目指します

日本大学の付属校であるメリットを最大限に活用し、部活動や地域活動などと両立しながら付属推薦の制度を利用して、日本大学への進学や希望する大学など各自の進路を実現するコースです。日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テストへの対応を基本とし、希望する大学への進学を可能とする授業を展開し、学力の定着やさらなる向上を目指します。多種多彩な教育活動を通じて、自らの意思で挑戦し、自らの考えをもって課題を見つけ、解決策を見出すことができる力を身につけ、多角的な視野を持ち、幅広い進路選択を可能とします。

アカデミックコース

ACADEMIC COURSE

【特長】

■充実した授業数、土曜講座
　放課後講座でハイレベルな学習環境

■定期的な外部模試受験で実力を確認

学びの5つのポイント

POINT 1 〉 **7時間授業**で
学習時間を確保！

POINT 2 〉 **全国模試**や**検定試験**で
実力を把握

POINT 3 〉 **習熟度別クラス編成**
多彩な**特別講座**で
個々に合った学びを実現

POINT 4 〉 志望校に合わせた
細やかな**進路指導**

POINT 5 〉 クラス全体で
学習環境を向上！

■ TIME TABLE（一例）

時間割	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	英語コミュニケーションⅠ	言語文化	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	数学A	土曜講座①
2	体育	音楽Ⅰ	音楽Ⅰ	情報Ⅰ	論理・表現Ⅰ	土曜講座②
3	現代の国語	数学Ⅰ	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	現代の国語	総合的探究
4	数学Ⅰ	地理総合	体育	歴史総合	数学Ⅰ	
5	論理・表現Ⅰ	数学A	物理基礎	数学Ⅰ	地理総合	
6	物理基礎	化学基礎	歴史総合	言語文化	言語文化	
7	LHR	保健	化学基礎	数学A	放課後講座	

土曜講座

日頃の授業の振り返りや、演習・テストを通じて実力を養成します。

講座例：外部模試事前・事後学習、単元テストによる実力養成 等

総合的な探究の時間

先端研究講座を軸に据え、大学の研究領域に興味をもてるような取り組みを実践します。P.B.L.（課題解決型学習）を通してグローバルな視点で必要とされるリーダーとは何かを追究します。プレゼンテーション能力や、ICT 活用能力を高めるほか、自分の研究テーマをまとめ論文を制作します。

■ PICK UP POINT

POINT1・先端研究講座

世界基準の学びに触れる

大学の取り組む研究が社会とどのように結びつくのかを考える機会として先端研究講座があります。日本大学各学部および他大学より講師を招き、世界基準の研究内容についてお話を聞きます。新しい時代に求められる教養や技術に触れ、自分自身の研究テーマへと繋げていきます。

実績：日本大学医学部、国際関係学部、名古屋大学工学部

POINT2・プレゼンテーション

考えをまとめ伝えるチカラを磨く

日々の学習や総合的な探究の時間での活動をまとめ、発表する機会を設けています。考えていることや知見として得たことを言語化し発表することで、思考力・表現力・発信力を高めます。また、他者のプレゼンテーションを評価し合うことで視野を広げます。

POINT3・進路研究

未来を想像しステップアップを目指す

知的好奇心を学びの原動力として、日々の学習を深めていきます。自分自身の探究に基づく研究テーマを設定することで、次のステージでの学びの動機付けとします。探究活動や先端研究講座で得た知見をヒントに未来の自分像を探し出していきます。

教育課程		国語					地理歴史					公民		数学							理科							保健体育		芸術		外国語							家庭	情報	総合的な探究の時間	合計	特別
		現代の国語	言語文化	論理国語	古典探究	●文学特講	地理総合	歴史総合	日本史探究	世界史探究	●資料講読	公共	政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C	●数学特講	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	●理科特講	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅲ	●英語特講	家庭基礎	情報Ⅰ			ホームルーム活動
標準単位数		2	2	4	4	1-2	2	2	3	3	2	2	2	3	4	3	2	2	2	2	2	4	2	4	2	4	2	7-8	2	2	2	3	4	4	2	2	2	2	2	3-6	-	3
1年		2	3				2	2						4			3				2		2					2	1	☆2	☆2	3			3				2	1	34	1
2年	文系			2	4	1			☆5	☆5		2			4			2							2			2	1				4			3			2		1	35	1
	理系			2	2							2			5			3				3		3	2			2	1				4			3			2		1	35	1
3年	文系			3	3	1			☆5	☆5	☆2		☆2						3	2							☆2	3						5			3	☆2			1	33	1
	理系			2	2	1							☆2			5			2			☆4		4		☆4	☆2	3						4			3				1	33	1

○は学校設定科目、☆は選択科目。
3年文系は「資料講読」か「政治・経済」を選択、「理科特講」か「英語特講」を選択する。3年理系は「政治・経済」か「理科特講」を選択する。

コース長／小川 高明 先生

ハイレベルな環境で常に向上心を持って学びます

アカデミックコースは高い目標に向かい、ハイレベルな環境で自分を磨くことができるコースです。広い視野と幅広い教養を身につけることで、国公立大学、難関私立大学への進学を目指します。そのため、授業は基本的に毎日７時間目まであり、土曜日は毎週土曜講座（演習・テスト・授業の振り返り等）と総合的な探究の時間が組まれています。２年生で文系・理系の選択、３年生では、国公立大学・私立大学の選択をし、一般受験に対応できる力を養います。知的好奇心旺盛で、自らをより向上させる気概がある人を待っています。

Ac Course

グローバル留学コース

GLOBAL COURSE

【特長】

■学びの段階に合わせた留学制度により語学力が向上

■異文化理解、言語理解を深める豊富な科目設定

3年間のステップ

1年

〈4月〉
南オーストラリア州から留学生の受け入れ

〈7月～8月〉
フィリピン語学研修
（語学学校での4週間研修）
ネイティブ講師とマンツーマンで英語を学び、4週間英語漬けの生活を送ります。

〈1月〉
オーストラリア長期留学
（ホームステイで、現地公立高校への通学）
Reynella East Collegeにて集中英語研修を受けた後、少人数で5～6校の高校に分かれ授業に参加します。現地の様々なアクティビティに参加し、語学力の向上だけでなく人間性も高めます。

2年

〈12月〉
オーストラリアから帰国

3年

進路実現に向けた取り組み
英検のほか、TOEIC®、TOEFL®、IELTS、TEAPなどの英語４技能検定試験で進路拡大の可能性を広げます。

■ TIME TABLE（一例）

時間割	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	英語コミュニケーションI	地理総合	論理・表現I	数学A	地理総合	土曜講座①
2	歴史総合	言語文化	英会話	化学基礎	数学I	土曜講座②
3	物理基礎	物理基礎	言語文化	体育	歴史総合	総合的探究
4	情報I	論理・表現I	数学A	英語コミュニケーションI	数学A	
5	情報I	現代の国語	英語コミュニケーションI	保健	化学基礎	
6	数学I	英会話	体育	数学I	言語文化	
7	LHR	異文化理解	現代の国語	放課後講座 オンライン英会話	放課後講座 オンライン英会話	

土曜講座

英検対策講座を軸に、リスニング演習や課題確認のための単語テストなどを行うことで、留学までに可能な限り英語力を高めることができる取り組みを行っています。

講座例：英検対策講座、課題確認テスト、リスニング演習講座 等

総合的な探究の時間

「異文化理解」（学校設定科目）と連動させながら、自文化・異文化について個人やグループで調べ学習をし、知識を深めます。また、プレゼンテーションやレポートを作成することでICT活用能力育成も目指します。卒業までには、留学を通じて見られる自身の変化や思いを、１つの成果物としてまとめ上げます。

■ PICK UP POINT

POINT1・豊富な英会話レッスン

日々の学校生活で英語に触れる

定期的にネイティブスピーカーと接する環境を維持することで、留学しても躊躇することなく自分の考えを伝える力を身につけていきます。ALTとの授業やiPadを利用してのオンライン英会話の時間が豊富に用意されています。

POINT2・語学集中講座

3年間で海外に通用する人材を育てる

１年生の夏休みに、フィリピンで４週間の語学研修を実施します。英語漬けの環境で語学力向上を目指し、４技能５領域をバランスよく伸ばしていきます。１年３学期より始まる１年間留学前の準備として、英語力だけでなく異文化理解の場としても有効です。

POINT3・国際交流

多様な異文化交流を経験する

静岡県や三島市と連携し世界各国の機関や高校生との交流を図っています。英語圏以外の国との交流も重ねることで、様々な語学への関心を高め異文化理解につなげます。

※高校３年次には「言語理解」（学校設定科目）の授業において、第２外国語（スペイン語または中国語）を学びます。

教育課程			国語					地理歴史				公民		数学							理科							保健体育		芸術			
			現代の国語	言語文化	論理国語	古典探究	●文学特講	地理総合	歴史総合	世界史探究	●資料講読	公共		数学I	数学II	数学III	数学A	数学B	数学C	●数学特講	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	●理科特講	体育	保健	音楽I	美術I	英語コミュニケーションI	英語コミュニケーションII
標準単位数			2	2	4	4	1	2	2	3	2	2		3	4	3	2	2	2	4	2	4	2	4	2	4	3	7-8	2	2	2	3	4
1年			2	3				2	2					3			3				2		2					2	1			3	
2年	文系	公民			2	3	1								4			2							2			2	1				4
		地歴								4		2																		☆2	☆2		
	理系				2	2						2			5			3				☆4		☆4	2	☆4		2	1	☆2	☆2		4
3年	文系	公民			3	3									4			2	2	4								3					3
		地歴								5	2																						
	理系				2	2										6			3			☆4		☆4		☆4	3	3					

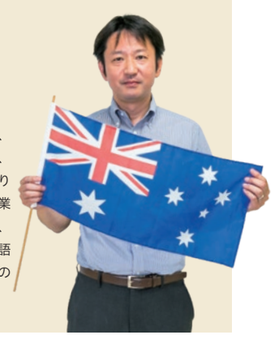
外国語						家庭	情報	◆グローバル教養								
英語コミュニケーションIII	論理・表現I	論理・表現II	論理・表現III	●英会話		家庭基礎	情報I	異文化理解	国際理解	言語理解	総合的な探究の時間	合計	留学	特別 ホームルーム活動
4	2	2	2	1		2	2	1	1	1	3-6	-	-	3
	2			1			2	1			1	32		1
		2				2			1		1	35	36	1
		2				2			1		1	35	36	1
3 /6		2	2 /4							1	1	34		1
4			4							1	1	33		1

○は学校設定科目、☆は選択科目、◇は学校設定教科。
2年次は留学のため、36単位を一括認定する／2年・3年の青文字の課程は、留学が実施されない場合に適用する。なお、芸術の選択科目を指定する場合がある／2年・3年の理系は基本的に総合進学コースで授業を受ける。なお、理科の選択科目を指定する場合がある／3年の「英語コミュニケーションII」・「論理・表現II」は9月までそれぞれ6単位、4単位で行い、10月以降「英語コミュニケーションIII」・「論理・表現III」を行う。

コース長／早坂 知也 先生

多岐にわたる学びで実践的な英語力を養成します

「授業×実践×留学」を通して、複文化の価値観に触れながら、徹底的に英語力を伸ばします。1年間のオーストラリア留学は、言葉では表現できないほど貴重な経験となることは間違いありませんが、留学へ繋がる学びにも特長があります。英語の授業に加え、ALTによる英会話、放課後のオンライン英会話レッスン、フィリピン語学研修、海外の学生との交流等で実践的な英語力を養成します。そして留学後は、英語スキルを活用して、次のグローバルなステージへと羽ばたいていきます。



GI Course

アスリートコース

ATHLETE COURSE

【特長】

■部活動にも取り組みやすい時間割設定

■スポーツ科学、アスリート学など
スポーツ教養を修得する科目設定

学びの5つのポイント

POINT 1
学校設定科目の充実
「スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ」、「アスリート学」の実施により、スポーツ教養を身につける

POINT 2
部活動に取り組みやすい環境

POINT 3
大学との連携
併設する国際関係学部や、スポーツ科学部と連携した講座の実施

POINT 4
フィールドワークの実施
スポーツ施設、スポーツ産業訪問を実施

POINT 5
自身の競技歴と展望をプレゼンテーション

■ TIME TABLE（一例）

時間割	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	物理基礎	論理・表現Ⅰ	歴史総合	地理総合	数学Ⅰ	土曜講座①
2	化学基礎	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	数学Ⅰ	論理・表現Ⅰ	土曜講座②
3	地理総合	情報Ⅰ	言語文化	現代の国語	現代の国語	総合的探究
4	数学A	歴史総合	音楽Ⅰ	体育	化学基礎	
5	英語コミュニケーションⅠ	体育	数学Ⅰ	音楽Ⅰ	物理基礎	
6	情報Ⅰ	体育	保健	数学A	言語文化	
7	LHR	スポーツ科学Ⅰ				

土曜講座
進路実現や多様な経験を重ねられる機会とするほか、普段の授業で十分な理解を得られないことを、じっくりと時間をかけて習得します。

講座例：職業講座（専門家による講話）、大学教員による講話、学年企画、プレ定期テスト 等

総合的な探究の時間
自分自身のリーダーシップを発揮できるフィールドを探究します。「地域」について学びを深め、他者と協働する中で自分の資質を高めていきます。3年間におよぶ探究活動では、フィールドワークや協働制作を通して ICT 活用能力やプレゼンテーション能力、発信力を高めます。

■ PICK UP POINT

POINT1・スポーツ教養

スポーツに特化した専門的授業

体育の授業と学校設定科目である「スポーツ科学」を連動させ、競技能力とスポーツ教養の相乗効果を図ります。スポーツ科学では、アスリートに必要な身体機能や自己管理能力を高めるための様々な知識を得ていきます。

POINT2・薬学講座・栄養講座

アスリートに必要な知識を学ぶ

医薬品の正しい知識を習得し、アスリートにとってのアンチ・ドーピングの意識を高めるため、学校薬剤師の先生から学びます。また、アスリートは自分の競技に適した栄養摂取の方法を理解しておかなければなりません。併設する短期大学部食物栄養学科と連携し、日々のトレーニングと相乗効果を図ることができる栄養について学びます。

POINT3・プレゼンテーション

将来を考える思考力と表現力を習得

自分の競技歴をまとめ、今後の競技生活の展望についてプレゼンテーションを行う機会を設けています。発表することで自分の目標をより明確に設定し、思考力や表現力、ICT活用能力を身につけます。

教育課程			国語				地理歴史						公民			数学							理科							保健体育		芸術
			現代の国語	言語文化	論理国語	古典探究	地理総合	地理探究	歴史総合	日本史探究	世界史探究	●資料講読	公共	倫理	政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C	●数学特講	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	●理科特講	体育	保健	音楽Ⅰ
標準単位数			2	2	4	4	2	3	2	3	3	2	2	2	2	3	4	3	2	2	2	4	2	4	2	4	2	4	3	7-8	2	2
1年			2	2			2		2							3			2				2		2					3	1	☆2
2年	文系	公民											2	1	2																	
		地歴			2	3		☆3		☆3	☆3		2				4			2							2			3	1	
	理系				2	2							2				5			2				☆4		☆4	2	☆4		2	1	
3年	文系	公民			3	3								4	4						2	4								3		
		地歴						☆6		☆6	☆6	2																				
	理系				2	2												6			3			☆4		☆4		☆4	3	3		

			外国語						家庭	情報	◆ スポーツ教養			総合的な探究の時間	合計	特別
			美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅲ	家庭基礎	情報Ⅰ	スポーツ科学Ⅰ	スポーツ科学Ⅱ	アスリート学			ホームルーム活動
標準単位数			2	3	4	4	2	2	2	2	2	1	1	1	3-6	-	3
1年			☆2	3			2				2	1			1	32	1
2年	文系	公民															
		地歴			4			2		2			1		1	32	1
	理系				4			2		2			1		1	32	1
3年	文系	公民				4			3					1	1	32	1
		地歴															
	理系					4			3					1	1	32	1

○は学校設定科目、☆は選択科目、◇は学校設定教科。
芸術の選択科目を指定する場合がある／2年文系コースは基本的に「地理探究」を選択科目とする。なお、公民を選択した場合は、1学期まで「公共」を5単位で行い、2学期から「倫理」を2単位、「政治・経済」を3単位で行う／2年・3年理系は基本的に総合進学コースで授業を受ける。なお、理科の選択科目を指定する場合がある。

コース長／高村 昭寿 先生

文武両道を目指し競技力と幅広い教養を身につけます

スポーツ関係の将来のビジョンを持ち、文武両道で勉強と部活動を頑張る生徒にうってつけのコースです！本校で指定された運動部に全員が所属し、日頃の部活動での頑張りを認め合える仲間がいます。もちろん、勉強も頑張り、日頃の授業時からお互いに質問をし合える活気があるコースです。他のコースとは違い、体育の授業が多く設定されており、スポーツ科学などアスリートコース独自の授業も設定され、自分の競技力向上にも繋げることができる、特別なコースです。

At Course

学びの特長
Three Pillars of Education

1. ICT教育　タブレットなどのICT端末やインターネットを活用した教育

■ 日常生活の一部として

LTE対応のiPadを1人1台所有します。いつでもどこでもiPadを使用できる環境をつくることで疑問を知識に転換できるようになります。特に探究活動においては新鮮な情報の入手・共有・発表など幅広く有効活用しています。

■ 幅広いアプリケーション

さまざまなプラットフォームを用意することによって、どのような環境においてもICT活用能力を発揮できるようなスキルが身につきます。関連するアプリケーションは、本校が定める範囲の中で自由にダウンロードして使用することができます。

■ 部活動や学校行事

動画を見ながら学習を進めたり、自身の活動履歴を残したり（ポートフォリオ）、活動内容に合ったアプリケーションを利用し、技術向上につなげます。また、LTE端末だからこそ部活動や学校行事等の協働作業に効力を発揮します。

2. グローバル教育　単なる英語教育ではなく、自分とは異なる文化や歴史を学び、地球社会について考える

■ 高大連携教育

日本大学国際関係学部に併設された本校には「国際関係学部講義履修制度」があり、希望者は大学で「哲学」「文学」「日本国憲法」「宗教」などの教養科目を大学生と一緒に受講することができます。修得した単位は、国際関係学部に進学した際、卒業単位として認定されます。

■ 英語ネイティブ教員の充実

職員室には英語ネイティブスピーカーの教員がおり、生きた英語を身につける実践の場となっています。週に2時間ネイティブ教員による英会話の授業があり、定期的にスピーキングテストも実施します。

■ 検定等の取り組み

実用英語技能検定の受験を推進しています。試験前に英検講座や学習指導、二次試験の面接対策を行います。英検の取得は英語学習の到達度を計るほか、大学受験にも効果的です。現在約400の大学が英検取得による入試の優遇措置を取っています。

国際交流プログラム　希望者を対象に、多彩な海外研修を用意しています

夏期海外語学研修（テキサスプログラム）／アメリカ テキサス州 オースティン

期間：夏期休業中の約4週間
（令和2年度～令和4年度は未実施）

約4週間にわたり、ドミトリー（学寮）に滞在しながら現地の語学学校に通います。語学研修や地域研修（アクティビティ）、そして週末のホームステイなどの活動を通して、語学力の向上を図ります。

春期・夏期海外語学研修（イギリス語学研修）／ケンブリッジ大学 ペンブルック・カレッジ

対象：日本大学付属高等学校
2・3年生の選抜者（学内選考あり）
期間：春期・夏期の2～3週間
（令和2年度～令和4年度は未実施）

日本大学学術交流協定校のイギリス・ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジにて海外研修プログラムを実施します。語学研修、イギリスの伝統文化・歴史・習慣を学び、フィールドトリップなどの研修も行います。

オーストラリア海外研修 異文化探究プログラム
／オーストラリア 日本大学ニューキャッスルキャンパス

期間：現在計画中
（令和5年度実施予定）

日本大学ニューキャッスルキャンパスを起点に、探究活動に挑戦する海外研修を計画しています。語学習得を目的とせず、探究活動の一環として、海外をベースに研修を実施します。

3. キャリア教育　社会的・職業的自立に必要な、基盤となる能力や態度を育てる教育

■ きめ細かな進路指導

生徒一人ひとりに寄り添った、きめ細かな指導を基本としています。日本大学をはじめ、国公立大学、難関私立大学への進学を可能にするため、個々の能力を最大限に伸ばせるような学習指導・対策を行っています。進路相談はもとより、小論文や志望理由書の書き方指導や面接練習など徹底した指導を行っています。

INTERVIEW

日大三島高校を卒業した先輩たちに、学校での思い出や現在の活躍について伺いました

Profile　01

岩田　詩乃
2012年度卒業
〈経歴〉
●静岡県三島市立北中学校出身
●神奈川大学 法学部 法律学科 卒業
●弁護士法人AdIre法律事務所 入社
●配属部署／役職：顧客相談部／事務員

日大三島での学びが糧となり、今に生きている

私は現在、法律事務所に勤務しています。お客様の事情を伺い、手続きの流れや弁護士費用等のご案内、弁護士への引継ぎ、契約のサポートを行っています。さまざまな事情を抱えているお客様に寄り添い安心感を与えられるところにやりがいを感じます。高校時代は勉強に一番力を入れていました。日々の学びを通して自分にあった勉強法を見つけられたおかげで、仕事上で覚えなければならないことが出てきたときにも、すぐに覚え身につけることができています。

日大三島は生徒の人数がとても多いので、文化祭は規模が大きくとても楽しかった思い出があります。また、先生方の面倒見がよく、日々の勉強だけでなく大学進学に向けたサポートもたくさんしていただきました。高校で学んだことがその先の人生に影響すると私自身感じています。勉強も部活も行事も一生懸命取り組んで、ぜひ楽しい高校生活を送ってください。

Profile　02

桑原　崚
2012年度卒業
〈経歴〉
●静岡県伊東市立対島中学校出身
●慶應義塾大学経済学部 経済学科 卒業
●丸紅株式会社 入社・退社
●株式会社メディアウィズ 設立
●配属部署／役職：代表取締役

高校時代に身につけた、目標に向かって努力する力

私は会社員時代、人の役に立てるビジネスを自分の力だけで0から作りたいと思い、実際に自分でメディアを立ち上げてみたところ、多くの方から反響をいただきました。その後、自社インターネットメディアの運営、店舗事業者様のメディア構築や運営、広告運用の代行を行う現在の会社をつくりました。

このように、自分で目標を設定し、達成に向けて必要なものを洗い出しコツコツ積み上げる力は、「自由と規律」を重んじる日大三島での3年間で培った力だと感じています。ケンブリッジ大学への短期留学プログラムに参加し、世界トップクラスの学生と、選抜された全国の付属高校の学生と交流できたことも、当時大きなモチベーションになりました。日大三島の良さは多くの選択肢を提供してくれること、そして学生一人ひとりの目標を最大限サポートしてくれるところです。日大三島での学校生活を通して、ぜひ新しい自分を発見してください。

Profile　03

浅倉　美貴
2011年度卒業
〈経歴〉
●静岡県伊豆の国市立韮山中学校出身
●聖路加国際大学看護学部看護学科 卒業
聖路加国際大学大学院 看護学研究科
助産学・ウィメンズヘルス専攻修士課程 修了
●社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合
母子保健センター愛育病院 入社
●配属部署／役職：看護部／助産師

多角的な視点を学び多様性に触れた学生時代

私は助産師として、妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を支える仕事をしています。命の誕生という大切な瞬間に立ち会い、ライフイベントを通して、女性とその家族をサポートできることに日々やりがいを感じています。

高校時代は、1年間オーストラリアに留学しました。留学先では、性別、人種、宗教、また個人の価値観などの多様性に触れ、自分とは異なる立場や考えの人を受け入れるという、医療職者としても人としても必要な姿勢を身につけることができました。留学も共にした友人や先生方が、私の高校生活を豊かにしてくれました。現在勤める病院には外国籍の患者さんも多くいらっしゃいます。日大三島での経験が、英語を母国語とする患者さんとのコミュニケーションに役立っています。皆さんも、卒業後の選択肢が豊富な日大三島で世界を広げ、たくさんのものの見方を吸収し、経験を将来の自分の糧にしてください。

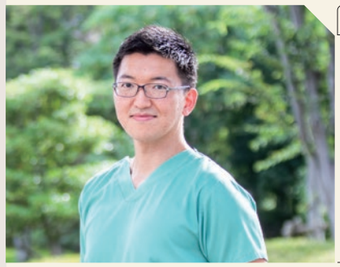
Profile　04

笹川　聖太
2017年度卒業
〈経歴〉
●静岡県三島市立錦田中学校出身
●日本大学芸術学部放送学科 卒業
●テレビ静岡 入社
●配属部署／役職：営業局営業部

今でも大切にしている放送部での学びと経験

高校時代に一番力を入れていたことは、放送部での活動です。顧問の先生をはじめ、優しく丁寧に面倒を見てくださる先生方のもとで、目標を定め努力する力、人前で自身の考えを伝える力を身につけることができました。高校最後のNHK杯全国高校放送コンテストで決勝まで進めたことは特に印象に残っており、自身最大の経験となりました。

3年間の放送部での経験から、自然と放送に携わる職業に就きたいと考えるようになり、日藝放送学科を卒業後、現在勤めているテレビ静岡に就職しました。お客様にテレビのCM枠を販売する営業の仕事をしています。学生時代に学んだ、「放送とは何か」「伝えるとはどういうことか」という2つの概念を、仕事をする上でとても大切にしています。整った環境はもちろんのこと、魅力的な先生方や様々な経験の場が用意されている日大三島で青春時代を過ごせたからこそ、今の自分があると感じています。



Profile　05

鈴木　宏將
2004年度卒業
〈経歴〉
●静岡県富士市立鷹岡中学校出身
●埼玉医科大学 医学部 医学科 卒業
●埼玉医科大学病院 入社・退社
●沼津市立病院 入社
●配属部署／役職：消化器内科 医員

多様な仲間と過ごした日々が私の財産

日大三島在学中、多地域から通学している地元以外の人と知り合い、たくさんの刺激を受けました。日本大学のみならず、大学進学を目指す仲間が多くいたため、自然と一緒に勉強する環境を作ることができました。試験期間が近づく頃、友人と放課後の教室で、黒板を使って数学の問題を出し合って教え合い、試験でお互い目標とする点数を上回ることができたことは、良き思い出です。多くの仲間や親身に相談に乗ってくれる先生方など、さまざまな人と知り合えたことが、私の大きな財産になりました。

医師である父と医学部に進学した姉に影響を受け、日大三島を卒業後医学部に進学しました。友人と切磋琢磨しながら勉強したことが、大人になってからの勉強習慣へとつながっています。現在は、患者さんに対して治療を行うことで、病からくる苦痛を少しでも軽減し、安楽に生活できるようになってほしい、という思いで日々治療にあたっています。

進路実績

日大三島高校は高い進学率を誇ります。日本大学への進学のほか、国公立・私立大学など、生徒一人ひとりが将来を見据え、新たな一歩を踏み出しています。

進学者数　令和3年度卒業生

進学率

97.8%

（進学者数 544名）

※ 留学1名含みます

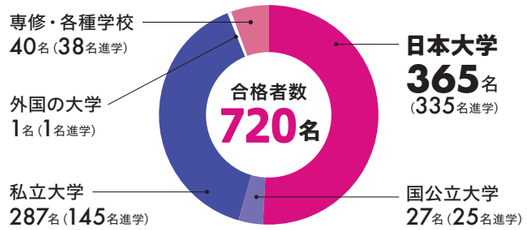
大学進学率

91.7%

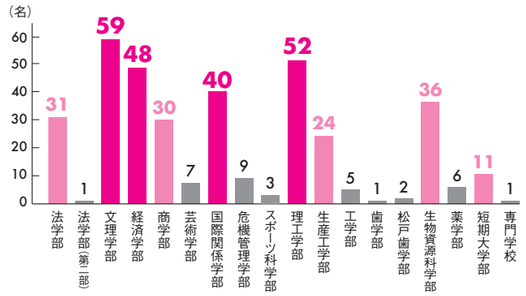
（大学進学者数 510名）

（卒業生 556名）

合格者数　令和3年度卒業生



■ 日本大学学部別合格者数（令和３年度卒業生）



令和3年度卒業生大学合格実績（令和4年3月卒業）

国公立大学

北海道大学…… 1	帯広畜産大学…… 1	静岡県立大学…… 3	福山市立大学…… 1
横浜国立大学…… 1	山梨大学…… 2	静岡文化芸術大学…… 1	横浜市立大学…… 1
東京学芸大学…… 1	富山大学…… 1	秋田県立大学…… 1	神奈川保健福祉大学…… 2
静岡大学…… 8	徳島大学…… 1	福井県立大学…… 1	長野県立大学…… 1

私立大学

早稲田大学…… 1	国際基督教大学…… 1	中央大学…… 5	立命館大学…… 4
慶応義塾大学…… 2	明治大学…… 9	法政大学…… 4	北里大学…… 4
上智大学…… 3	青山学院大学…… 1	学習院大学…… 3	成蹊大学…… 1
東京理科大学…… 5	立教大学…… 5	同志社大学…… 1	成城大学…… 3

UNIFORM

2022年度から制服が新しくなりました！

洗練されたデザインのグレーのブレザーが印象的な制服は、気品と優雅さを兼ね備えています。女子生徒のスラックスも導入したことで、季節や自分のスタイルに合わせたコーディネートが可能になりました。

男子冬服

女子冬服

男子夏服　女子夏服

日本大学

目的および使命

日本大学は
日本精神にもとづき
道統をたっとび
憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする
日本大学は
広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

教育理念　自主創造

日本大学学祖 山田 顕義

現在の山口県萩市に生まれ、14歳で吉田松陰の松下村塾に入門しました。岩倉使節団の一員として欧米諸国に調査のため赴き、欧米の先進技術や文化に触れ、教育普及・法律整備が急務であると確信し、以降近代法の整備に取り組みました。

そして司法卿・司法大臣として近代国家の骨格となる明治法典の編纂にあたり、“近代法の父”と呼ばれるようになりました。

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力

日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。

多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。

社会に貢献する姿勢

社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ

○ **豊かな知識・教養に基づく高い倫理観**
豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

○ **世界の現状を理解し、説明する力**
世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。

自ら考える

○ **論理的・批判的思考力**
得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。

○ **問題発見・解決力**
事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。

自ら道をひらく

○ **挑戦力**
あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

○ **コミュニケーション力**
他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。

○ **リーダーシップ・協働力**
集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。

○ **省察力**
謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

CHECK! 運動・文化・学術など多彩な部活動 ※令和4年度現在

運動部門 ■陸上競技 ■水泳 ■野球 ■柔道 ■剣道
■卓球 ■山岳 ■サッカー ■男子バスケットボール
■女子バスケットボール ■男子テニス ■女子テニス
■男子バレーボール ■女子バレーボール
■女子ソフトボール ■ゴルフ

学術部門 ■英語 ■生物 ■物理・数学 ■地理・歴史 ■天文

文化部門 ■吹奏楽 ■合唱 ■演劇 ■写真 ■文芸 ■美術
■箏曲 ■華道 ■茶道 ■書道
■家庭 ■囲碁将棋 ■軽音楽 ■ダンス

応援部門 ■応援

広報部門 ■新聞 ■放送

同好会 ■インターアクト ■フェンシング ■女子ラクロス

部活動詳細はこちら

CHECK! 充実した施設・設備が利用できる

図書室で自主勉強をしたり多目的ホールで生徒間の交流を深めたり様々な施設が利用できます

桜アリーナはバスケットコート4面分の広さ！授業や学校行事で使用します

人工芝のグラウンドや全天候型トラック等充実した設備が活動の幅を広げます

●図書室、多目的ホール

●陸上競技場、サッカー場（人工芝）

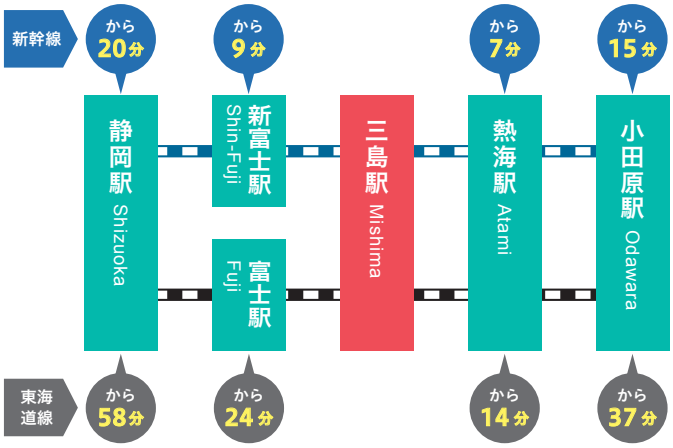
●1階：食堂（約750席）
多目的運動場
トレーニングルーム

●2階：アリーナ
（バスケットコート4面）

●3階：観覧席と1周245mの
ランニングコース

CHECK! JR三島駅から好アクセスで遠方からも通学が可能

新幹線 通学も可能！ ※新幹線は「こだま」を利用



日本大学三島高等学校・中学校

〒411-0033
静岡県三島市文教町2丁目31番145号
TEL 055-988-3500／FAX 055-988-3517